

# シルバーだより 柏崎

(題字は故今井市長)

第98号 発行日 平成22年9月1日

発行 (社)柏崎市シルバー人材センター  
〒945-0032  
柏崎市田塚3丁目11番30号  
TEL (0257) 24-2148  
FAX (0257) 22-2438  
編集 同上 広報部会

登録会員数 1,278人 男771人 女507人 8月6日現在

## 創立30周年おめでとう! (記念特集号)



### 理事長挨拶

本年六月十九日、柏崎市シルバー人材センター  
創立三十周年記念式典並びに祝賀会を市民プラザ  
において開催いたしました。

顧みまず昭和五十四年に高齢者事業団設立の準備に着手しました。  
当時の今井市長の公約は鵜川の激特事業、救急医療体制の確立、スポー  
ツ施設の拡充等と並んで高齢者事業団の設立とありました。

「健康と生きがいのために働きたい」という高齢者の希望をかなえてあ  
げたい。さらに、その人の持っている技術や能力を地域社会で生かせ  
れば」という高齢者の期待と指示を得て、昭和五十五年十月スタート  
いたしました。人口二十万以上の都市という厳しい設立認可基準の中、  
関係者のご努力で会員二〇一人の船出でした。

昭和五十九年、全国に先駆けてパソコンを導入し事務効率が飛躍的  
に向上しました。十年後(平成元年)、会員七八一人、受託金額二億七  
千万円。平成五年ワークブラザ柏崎の管理運営を受託、十五年後(平  
成六年)会員数は千人を越え、受託金額も四億円となりました。平成  
八年シルバーの建屋が完成、十一年会員数一、二九一人、四億八千万  
円を記録しました。十二年には介護保険事業に参入し、事業も大幅に  
進展しました。十七年高柳町、西山町との合併、十八年会員数一、四  
四九人、受託金額七億円を達成しました。

しかしながら、当地を震源とする中越沖地震、リーマンショックに  
よる世界的不況により、現在は会員数一、二七二人、受託金額四億九  
千万円の実績となっております。

「人は歳月を重ねたから老いるのではない、理想を失ったときに老い  
る」とウルマンの言葉にあります。私たちは福祉の受け手に甘んずる  
ことなく、福祉の担い手として生きる喜びを見出していききたいと思  
います。

これまでお世話になった歴代の市長さん、行政関係者、経済界、そ  
して多くの諸団体の皆様に厚くお礼を申し上げると共に三千人を超え  
るOB会員、現会員の皆様に感謝しつつ、明日に向かって新たな歩  
みを進めてまいります。歴史を学ぶのではなく、歴史に学んでいき  
たいと思います。

# 創立三十周年を祝して

柏崎市長

会田 洋



社団法人柏崎  
市シルバー人材  
センターの創立

三十周年を心からお祝い申し上げます。

高齢者の皆様が長い間培ってきた知識、経験、能力を活用し、生きがいをもって社会参加をしていただくために、就労の確保とその拠点づくりを施策の柱に、昭和五十五年十月、当時の柏崎市の人口規模では実現が難しいといわれる中で関係者の熱意と努力により、新潟市に次いで県内二番目に設立されました。喬柏会館に事務所を構えて活動を開始し、その後会員の皆様の熱意と誠実な活動が評価され、平成八年には現在の田塚地内に新たな拠点が整備され、今日に至っているところです。

この間、着実に活動の輪を広げ、平成十八年度には千四百人余の会員で年間受託金額も七億円を超えるなど、輝かしい躍進を遂げられました。介護保険事業への参入や、高齢者生活援助サービス事業に

よる高齢者支援など、社会制度、情勢の変化にも柔軟に対応して、時代の要請に沿った事業を展開してきていただいております。これらはひとえに、幾多の苦難を乗り越えてこられた会員の皆様や歴代の役員・事務局職員各位のたゆみない努力の賜であり、深く感謝申し上げます。また、高齢者の皆様が、ご自分の持てる技術や能力を発揮し、ご活躍されていることをなによりうれしく思います。

現在は、中越沖地震やその後の金融危機に端を発した景気の落ち込みによる影響を受けながらも、シルバーふれあいサロン「やまゆり」での活動や、農業参入への取り組みを進めるなど、積極的に事業を展開されていることに敬意を表するものであります。

高齢化が今後とも進んでいく中で、高齢者の方々の技術やノウハウを活かした活動が地域社会をお互いに支える力となり、会員の皆様の生きがいにつながることから、「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき、創意工夫を凝らした今後の取組みに大いに期待いたします。

終わりに、柏崎市シルバー人材セ

ンターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。お祝いのご挨拶といたします。

## 「喜働」「健康」三十年を祝う

柏崎市議会議長

齋木 裕司



柏崎市シルバー人材センターが創立から三十

周年をお迎えになったことを心からお祝い申し上げます。

「高齢者の生き甲斐と健康づくり」を目指して、昭和五十五年十月に県内で二番目の高齢者事業団として発足以来三十年間県内はもとより、全国有数のシルバー人材センターとして活動され発展して来られたことに心から敬意を表します。これは千原理事長を始めとして歴代の理事長、会員、事務局の皆様方のさまざまな御苦労やご努力の賜物と感謝を申し上げます。

さて、二十一世紀に入つてすでに十年間が経過しておりますが、少子高齢化がさらに進み、我が国の人口構造においては、高齢者の比率がますます高まっております。

エイジレス時代と言われて久しいですが、高齢者が長年の経験を生かし、社会に貢献できることは、多くの方々が望んでいることだと思えます。人生八十年時代の今、行政もさまざまな支援を行います。が、まずは自分の健康を守ることが念頭に、これからも生き生きと元気よく「喜働」していただくことを期待しております。

この十年間の柏崎市シルバー人材センターの様子を拝見致しますと、介護保険制度に対応し、指定居宅事業の開始、ワークプラザ柏崎を指定管理者として受託、アンテナショップのオープンなど、従来の枠にとらわれることなく先駆的、積極的に取り組んでおられます。これが、輝かしい躍進を遂げてこられた原動力の一つなのではないかと敬服いたしております。

今後とも「喜働」を通じた生き甲斐、健康と仲間づくりを目指し、そして、多くの市民から愛され、親しまれ、喜んでもらえるように活動していただくことと、会員の皆さまがいつまでも健康で活躍され、シルバー人材センターがますます発展されることを心からお祈り申し上げます。

## 祝 辞

(社)新潟県シルバー

人材センター連合会

会長 加藤 健一



柏崎市シルバー  
人材センターの設  
立三十周年おめで

とうございます。心からお祝い申  
し上げます。

貴センターは県内で新潟市に次  
いで二番目のセンターとして三十  
年前の早い時期に誕生されました  
が、これは先進性を大切にする柏  
崎市の土地柄によるものだと思います。  
この三十年間の歴代の役員  
や会員の方々のご努力に心から敬  
意を表します。

貴センターは通常のセンターが  
取り組んでいる業務の他に、会員  
がボランティアで運営している  
「やまゆり」を通じて地域社会の  
交流に貢献するなど特色ある取り  
組みにも力を注いでおられます。  
今後とも、このような地域に根を  
張った事業も大切にしていただき  
たいと期待しております。

現在景気の低迷と国による補助  
金の削減により、シルバー人材セン  
ターは大変厳しい状況にあります。  
連合会といたしましても、それ

ぞれの運営が円滑にいくよう拠点  
センターを支える立場で努力いた  
しますので、力を合わせてこの難  
局を乗り切っていきましよう。

柏崎市シルバー人材センターに  
おかれましては三十年の歴史とい  
う素晴らしい土壌を培ってこれら  
れましたので、これを活かして立派  
な花を咲かせてくださることを期  
待しております。

終わりに、設立三十周年を契機  
に貴センターの更なる発展と、会  
員の皆さまのご健勝を祈念申し上  
げ、お祝いの言葉といたします。

## 創立三十周年を祝して

柏崎公共職業安定所長

田中 泰司



社団法人柏崎市  
シルバー人材セン  
ターの創立三十周  
年を迎えられたことを心からお祝  
い申し上げます。

我が国人口の高齢化が進む中  
で、豊かで活力に満ちた社会を維  
持していくためには、高齢者の  
生活の安定が必要であり、高齢  
者の長年の知識、経験を生かした

活動ができる雇用就業の開発や確  
保が重要となっております。

柏崎市では、この高齢化社会の  
到来を見据え、昭和五十五年に県  
内二番目にシルバー人材センター  
を設立され、県内シルバー人材セ  
ンターの牽引役として、地域社会  
の発展のため大きな役割を果たし  
て来られました。

この間、会員数は千二百人を超え、  
事業活動等も大きく発展して来ら  
れたことについて、歴代の理事長  
様をはじめ、会員並びに役員皆  
様のご努力に深く敬意を表します。

また、昨今の長引く景気低迷に  
より、高齢者の雇用環境を取り  
巻く情勢も厳しい状況にあります  
が、受注確保のための企業訪問や  
自主事業等の積極的な取り組みに  
より、この難局を乗り越え、さら  
なる飛躍がなされるようご期待し  
たいと思います。

本格的な少子高齢化社会を迎え  
る中、柏崎市シルバー人材センタ  
ーの皆様には、「自主・自立・共働  
・共助」の理念のもと、会員の皆様  
ひとりひとりが「健康に感謝し、  
互いに力を合わせ、楽しく働く」  
を念頭に、今後の柏崎地域の発展  
に寄与されますよう、お願い申し

上げます。

最後に、柏崎市シルバー人材セ  
ンターの益々のご繁栄と会員の皆  
様のご健勝をご祈念いたしまし  
て、創立三十周年のお祝いの言葉  
とさせていただきます。

## 創立三十周年に寄せて

柏崎市福祉保健部介護高齢課

課長 内山 裕一



「高齢者の持て  
る能力を、社会参  
加することによつ

て役立て、それを自らの生きがい  
にしよう」を旗印に二十年間、刻々  
と変化する社会情勢の中でシルバ  
ー人材センターの発展のため尽力  
された歴代理事長、事務局、多く  
の会員の皆様に深く敬意を表しま  
す。初代笠木事務局長は「シルバ  
ーの業績は会員数とバランスのと  
れた仕事量の確保と事務の効率化  
が必須条件である」と言われてい  
ます。この理念は三十年間脈々と  
堅持され、これからも引き継がれ  
ていくことでしょう。シルバー人  
材センターの更なる発展と会員各  
位のご健勝をご祈念申し上げます。

# 創立30周年記念式典

平成22年6月19日 於 市民プラザ

## (社) 柏崎市シルバー人材センター 創立30周年記念式典



にぎやかに  
和やかに  
祝賀会風景



## 独自事業、開発の思い出

顧問 阪田 利典



創設者の一員、  
笠木量平氏は、平  
成五年理事長に就

任し受託事業に加えて、独自事業を開発し、事業の一層の発展を期すため、理事の私にその開発を命じ、私は①家庭生ごみの堆肥化、②放置自転車の再生、③刃物研ぎの三事業を提議し実施しました。

その成果、①②は市の財政運営に③は市民の便利さに寄与しました。後にやまゆり事業に繋がりに、現在両事業収入合計はほぼ一千万円に達しています。

## 初役職の思い出

前副理事長

大橋 由勇



平成三年、評議員に任命されて研修部に所属しまし

た。大先輩ばかりの中で、お仕事のできることを誇りに感じたものでした。

当時の研修部の活動内容は

- ① 会員の増強(千人を目指して)
- ② 就業率の向上

- ③ 信頼されるセンターを目指す(会員のモラルの向上)

これが主な内容でしたが、同じ目標を数年取り上げても、その周知の難しさを感じたものでした。

## 創立三十周年に寄せて

理事 竹内 昇平



昨年からの世界的な経済不況により、高齢者の雇用

についても一段と厳しさを増しているなか、柏崎地域における、当センターの果たす役割は大変大きなものであると認識しています。

創立三十周年を契機に、「自立・自立・共働・共助」の理念のもと新規事業の開拓など更なる飛躍に向け、理事として、また、市役所雇用担当課として、共に努力してまいります。

## 三十周年を迎えて思うこと

理事 三浦 淑子



シルバーに入会したのが二十年前、サービス部門

を選択し、家事援助を依頼された。

苦手な料理作りに苦労した記憶がある。したがって講習会には積極的に参加した。

平成十一年介護ヘルパー二級、看護師免許があり、ヘルパー一級も受講できた。

その頃より婦人部の仕事を受け、多くの会員ともふれ合うことができた。また、いろいろなことに挑戦し二十年があっという間に過ぎて行ったように思います。

## 創立三十周年に思うこと

前事務局長

佐藤 博司



三十周年誠にありがとうございます。

私がシルバー人材に入ったのは平成十二年四月でしたが、当時の世相はゆったりとしていました。

現在はシルバーだより等を見ていると制度的にも財政的にも難しい時期にあると感じられます。もちろん理事会や各委員会でのいろいろと検討されていると思います。が、これからのシルバー人材センターが市民のためにもなり、会員のためにもなるような案を作りだし、さらなる発展を願っています。

## 夢と希望の実現

中南鯖石地区

坂田 虎雄



高齢者事業団発足説明会を期にして六十五歳のとき

さっそく加入申し込み以来、会員としてリケン、友愛会、東北工業等にお世話になって現在に至りました。

当時、事業部長であった阪田利典様(現在、顧問)の発案で刃物研ぎを担当して、地区住民の皆さんに喜ばれるよう懸命に頑張ってきました。

今年(寅年)、八回目の年男で九十六歳です。最近脳力、体力とも著しく低下し、もはや夢も希望も限界かも……

## 三十周年を迎えて

海岸地区

南坂千 萬人



シルバーに入会したのは、平成五年五月だと思いま

す。塗装班に所属し、十七年になります。

今、塗装班は四名で仕事をしています。六年前までは市立保育園の屋根・遊具等の塗装がありました。一般的に仕事がありません。

一仕事のないときはテレビを見て過ごします。NHK「日本の歌」をよく見ます。旅行も好きで度々家族や友人たちと出かけます。

体に気をつけ、これからも頑張りたいと思います。

## 思い出



海岸地区

高橋 繁男

平成六年先輩の勧誘でシルバーに入会。最初の就業は海浜駐車場でした。小池職員さんが現地を案内していただいたことが脳裏に残ります。

当時、駐車場九か所、三十名くらいで対応しましたが、少子高齢化が進むとともに海水浴客も減少し、昨年は六か所、二十一名の就業でした。

駐車場はそれぞれ形態と規模が異なり、浜茶屋との関係もあって管理の難しさを痛感しますが、海

水浴客から「来年もまたきます」の一言で心が癒されます。

## 喜んで頂ける幸せ



剣野地区

富沢 照枝

創立三十周年おめでとうございませう。

介護の仕事をさせていただいていますが、いつまで続けられるかと思いつながら、もう十年になりました。

訪問介護は待つていてくださる方がいると思うと、私も元気をいただきます。動けない身体で笑顔を見せて、いろいろなことを教えていただいたりします。

少しでもお役に立っていることが、自分自身の生きがいとなり、健康でお仕事をさせていただけることを幸せに思っております。



## 「やまゆり」ボランティアに感謝

半田地区

中村 和己



創立三十周年おめでとうございませう。私は平成十六年に会員にさせていただきました。現在「やまゆり」のボランティアをしております。

先輩方がお元気で当番されている姿に接し、私の元気と活力の源になっていきます。

これからも健康であることに感謝し、明るく、楽しく、会員との「ふれあい」を人生の生甲斐として、今を大切に頑張りたいと思っております。

## 創立三十周年のお祝い

株式会社 テイクスークス 新潟工場

品田 裕三



センター創立三十周年大変おめでとうございませう。

思い起こせば、私が会社に入社して数年後に発足したわけですから、ずいぶん永く運営されていることになりました。これも一重に会

員並びに職員の皆様のご努力の賜物と感じております。

当社で就業されている会員の方も年齢を感じさせない働きぶりで大変助かっております。少ない就業の機会ではありますが、今後とも適材適所の人材をご紹介いただければと思っております。

## 創立三十周年によせて

株式会社 酒井鉄工所

酒井 ミエ



創立三十周年おめでとうございませう。

シルバー人材センター様には昭和五十八年より就業をお願いし、今日まで八十名の会員様から、お手伝いを頂いております。

仕事に対する姿勢が社員の模範となり、人生の大先輩として社員とのコミュニケーションを図り、社内の行事にも参加頂き楽しい思い出が浮かんでまいります。

これからも豊富な経験と知識を生かして活躍ください。また、シルバー人材センター様の益々の活躍をお祈り申し上げます。

# 30年の歩み (1) 昭和53年度～57年度



設立総会で、巻瀨初代理事長の挨拶（昭和55年10月）

## 昭和53年度 (1978～1979)

- 12. 12月市議会において、小林市長、高齢者事業団の設立の意向を示す

## 昭和54年度 (1979～1980)

- 4. 今井市長、高齢者事業団の設立を打ち出す
- 6. 5 全国15市事業団に照会し、資料による調査研究開始
- 6. 市議会一般質問に、本年度準備、来年度組織づくりする考えを発表
- 10. 2 福祉事務所に準備調査の事務局設置、臨時職員採用
- 11. 7 市内27会場において、老人クラブ、高齢者対象に説明会（～.30）
- 2. 事業主発注意向調査実施・分析（192事業所が発注可能）

## 昭和55年度 (1980～1981)

- 4. 1 設立準備委員会事務局を白竜会館内に設置
- 4.19 第1回設立準備委員会（委員長巻瀨勇一郎）
- 5. 1 設立準備委員会事務局に笠木量平着任
- 5. 7 参加希望者を対象に14会場で説明会（入会申込者数男148、女32）
- 7.20 発注可能事業所250社訪問（8.10まで）
- 9.26 定款、規約、役員、事務局体制等につき、最終案の検討を行い、市長の了承を得る
- 10.15 「柏崎市高齢者事業団」として産声を上げ、設立総会が開かれる。初代理事長として巻瀨勇一郎が選任される（於・喬柏園、出席者201名）
- 12.22 理事会（発足後の経過および就業実績、会費他）
- 12.25 二代目理事長に須田兵治就任
- 2. 1 事務局、白竜会館から喬柏会館に移転
- 3. 4 社団法人に認可される

## 昭和56年度 (1981～1982)

- 9.16 初めてテレビ局から取材。以降テレビ局の取材あいつぐ
- 一、視察団来訪（県内外から年間10回以上）
- 2. 地区研修会（5地区）

## 昭和57年度 (1982～1983)

- 5.15 「柏崎シルバーだより」(創刊号)発行（年2回、昭62から3回、平3から4回、平21から3回）
- 9.26 第1回研修旅行兼臨時総会（於・妙高高原）
- 2.13 新年会（於・産文、次年度から4年間忘年会、以降会員ふれあい交流会となる）



高柏会館へ移転した事務局（昭和56年2月）



設立総会に出席した会員（昭和55年10月）



慣れない仕事に緊張している会員（昭和56年夏、番神駐車場）



北鯖石地区会員の草取り（昭和56年）



初めての研修旅行（昭和57年9月、林泉寺にて）



剣野遺跡発掘調査（昭和57年）



地区研修会（昭和59年2月、枇杷島地区）



NST新潟テレビによる取材（昭和58年4月）



## 30年の歩み (2) 昭和58年度～平成元年度

### 昭和58年度 (1983～1984)

- 6.20 専門部会初会合
- 10. 3 市議会常任委員との懇談会
- 12. 2 BSNラジオ取材に来所

### 昭和59年度 (1984～1985)

- 10.18 パソコン講習会 (於・長岡、職員参加)
- 3. 事業実績が北信越で初めて1億円を突破する。会員数は創立時の2倍に

### 昭和60年度 (1985～1986)

- 7.11 NT21テレビ局取材 (「ズームアップにいがた」、～12)
- 10.15 創立5周年記念に予てから準備中のパソコン導入、全国に先駆けて事務の効率化を図る
- 1～2. 初の技能講習会 (刃物研ぎ、障子張り、介護)
- 2. 6 法制化署名簿市長に提出

### 昭和61年度 (1986～1987)

- 10.15 総合福祉センター竣工、事務局喬柏会館から移転
- 2 全市にチラシ配布し、PRと会員募集に効果をあげる

### 昭和62年度 (1987～1988)

- 5.15 見舞金給付規程決まる
- 5. 会員主体の部会制確立する
- 5. 法制化に伴い「柏崎市高齢者事業団」の名は消え「社団法人柏崎市シルバー人材センター」に改称
- 1. 技能講習は前年より増え、編物、書道、家庭介護、菊作り、庭木剪定、草刈機等が加わる
- 一、 笠木局長、全シ協から県内指導を委任され活躍。8年間にわたり県内シルバーの指導にあたる

### 昭和63年度 (1988～1989)

- 10.14 全シ協中央経験交流会大会で笠木事務局長が全国トップをきって事例発表
- 12.13 会員に安全就業規程配布
- 1.26 国土庁地方振興指導者、視察に来訪

### 平成元年度 (1989～1990)

- 5. 当センターが国の補助制度Aランクに
- 10.20 県共同募金会から表彰
  - 一、 業績伸長；受託金額2.7億、会員数781、就業率92.3%
- 5. ワープロ講習会；ワープロ機械2台設置、会員の研修をはかる



初の技能講習会  
(昭和61年2月、介護)



待望のパソコン入る (昭和60年10月)



書道講習 (昭和63年1月)



事務局、総合福祉センターへ移転  
(昭和61年10月)



忘年会 (昭和60年12月)



理事・評議員会 (昭和61年)



婦人部会・編物教室 (昭和62年7月)



中央経験交流会で事例発表する  
笠木事務局長 (昭和63年10月)



地区委員会議 (平成元年8月)



埼玉県生きがい財団の視察  
(昭和63年1月)

## 30年の歩み (3) 平成2～11年度

### 平成2年度 (1990～1991)

- 10.14 創立10周年記念式典（於・産文、470名出席）、記念誌発行
- 12. 「シルバー便り」(第22号)発行で、パソコン班により初めて原稿打ちこむ

### 平成3年度 (1991～1992)

- 5. 平成2年度事業実績3億円突破、会員数800名を超える
- 10. 事業普及促進啓発月間（10月1日～31日に各部活動）

### 平成4年度 (1992～1993)

- 10.21 全シ協設立10周年記念式典の席上、当シルバー「労働大臣団体表彰」を受賞
- 2. 柏崎市勤労者総合福祉センター（ワークプラザ柏崎）落成式典

### 平成5年度 (1993～1994)

- 4. 「ワークプラザ柏崎」の管理運営を柏崎市から当シルバーに委託される
- 5.21 三代目理事長に笠木量平就任
- 10.10 街頭キャンペーン実施（事業部、研修部、婦人部、福利厚生部、広報部）
- 10.15 全シ協大会で理事長発表（仕事の開発、開拓の方策）
- 11. 6 会員1,000名達成
- 12. シルバー人材センター事務所建設について、市議会議長に陳情

### 平成6年度 (1994～1995)

- 4. 独自事業始まる（刃物研ぎ）

### 平成7年度 (1995～1996)

- 7.18 「月刊シルバー」レポーター来所（広報部を取材）
- 10.15 創立15周年記念会員の集い（会員表彰）と講演（於・市民会館）
- 3. 陽だまり事業始まる

### 平成8年度 (1996～1997)

- 4. 海岸清掃始まる
- 11. 1 館竣工式

### 平成9年度 (1997～1998)

- 10. 市生ごみ対策に呼応、「EM菌」提供
- 12. 事業部、リサイクル事業講習会開催

### 平成10年度 (1998～1999)

- 10. シルバードライビングスクール

### 平成11年度 (1999～2000)

- 5. 四代目理事長に阪田利典就任
- 7. 笠木顧問、柏崎市功労賞受賞
- 8. 就業開拓専門員活動開始
- 10. 3級ヘルパー介護講習会開催



事業普及啓発促進月間  
(平成3年10月、キャンペーン活動)



創立10周年記念式典（平成2年10月）



柏崎市勤労者総合福祉センター落成式  
(平成5年2月)



地区別研修会（平成4年2月）



EMボカシの製造・販売事業始まる  
(平成9年)



創立15周年記念会員のつどい  
(平成7年10月)



再生自転車販売開始（平成10年8月）



「柏崎市シルバー人材センター」竣工  
(平成8年11月)

## 30年の歩み (4) 平成12～18年度

### 平成12年度 (2000～2001)

- 4. 介護保険事業に参入
- 4. 独自事業チャイルドシート貸与活動
- 9. 創立20周年記念「独居老人家屋修繕ボランティア活動」
- 10.13 創立20周年記念式典 (於・産文)

### 平成13年度 (2001～2002)

- 6. 9 柏崎エコ産業展へ参加 (～.10)
- ー. テレフォンサービス開設
- 10.24 第1回「シルバースポーツ交流会」 (於・総合体育館)
- 3.16 定期総会 (今年度から2回開催に) 兼会員研修会 (於・市民会館)

### 平成14年度 (2002～2003)

- 7.11～ ホームヘルパー研修会 (2級課程)
- 9. 3～ ホームヘルパー研修会 (3級課程)
- 10.19 エコライフ展に参加

### 平成15年度 (2003～2004)

- 9.13 シニアじまん展 (於・ソフィアセンター、老人クラブとの共催)
- 10.18 エコ展に共催 (フォンジェ地下)
- 11. 9 「第1回柏崎マラソン」に交通整理係員として会員も就業
- 11.17～ 福祉住環境コーディネーター講習 (3級)

### 平成16年度 (2004～2005)

- 10.13 高齢者活用子育て支援講習会
- 10.23 新潟県中越地震発生
- 3. 安全標語の入選作品決定 (7月に募集)
- 3.28 (社)柏崎シルバー人材センター合併調印式

### 平成17年度 (2005～2006)

- 5. 1 合併により高柳町から25名、西山町から72名の会員が入会
- 5.21 五代目理事長に千原昭夫が就任
- 2.10 中長期計画推進委員会

### 平成18年度 (2006～2007)

- 4.15 当センター初のアンテナショップ「やまゆり」、オープンイベント。
- 4.16 営業開始
- 7.24 夏休み子ども広場 (～8.31)
- 12.25 冬休み子ども広場 (～19.1.5)
- 2.27 適正就業委員会設置要綱策定、同委員会発足、理事会にて承認

### 祝 (社)柏崎市シルバー人材センター創立20周年記念式典



創立20周年記念式典 (平成12年10月)



介護保険事業に参入 (平成12年7月1日、ヘルパーの資格をもつ会員)



第2回スポレク交流会 (平成14年10月)



一泊研修旅行 (平成14年10月、飛騨方面)



クリーン作戦 (平成13年10月)



「やまゆり」オープン (平成18年4月)



松浜地区懇談会 (平成18年6月)



合併調印式 (平成17年3月)

## 30年の歩み (5) 平成19~22年度



子育てアシスタント講習会  
(平成19年10月)



クリーン作戦  
(平成19年10月、北条地区)



女性会員のつどい (平成19年3月)



冬休み子ども広場 (平成19年1月)



シニアじまん展 (平成20年10月)



「やまゆり」前にて (平成19年1月)



婦人部協力による救急法(AED)講習会  
(平成22年2月)



剣野地区総会 (平成20年7月)



農業支援スタッフ講習 (平成21年7月)

### 平成19年度 (2007~2008)

- 4. 1 枇杷島地区は2地区に、米山地区は海岸地区4班に
- 4. 適正就業委員会活動開始。適正就業実施
- 4. SP事業の変更: 1種、2種を長期講習、短期講習に。講習会参加者は会員以外も対象
- 7.16 中越沖地震発生(「ワークプラザ柏崎」が避難所に)
- 10.16 地震後「やまゆり」営業再開
- 10. 一泊会員研修旅行は隔年実施となり、来年度に延期
- 12. 9 「柏崎音市場」ライブ会場に「やまゆり」も協力
- 12.25 震災見舞金給付(口座振り込み)

### 平成20年度 (2008~2009)

- 4. 1 適正就業スタート(1年間猶予期間のもの)
- 7. 1 農業支援スタッフ講習会(～8.27)
- 7.25 夏休み子ども広場(～8.29、今回をもって終了)
- 7. 事務費改定(配分金の5→6%)
- 9.30 西山事務所閉鎖
- 1.16 経営革新委員会スタート
- 2.23 婦人部会主催AED講習会

### 平成21年度 (2009~2010)

- 4. 事務費改定(配分金の6→7%)
- 4. 農業支援委員会、活動を開始
- 4. パソコン「陽だまりコーナー」、センター建屋内に移転
- 5.15 毎月配分金支払日を15日支払い(金融機関が休業日の場合は翌営業日)に変更
- 7. 5 「やまゆり」、柏崎港観光交流センター「夕海」の地元市に出店
- 10. 1 福祉用具専門相談員講習会(～10.21)
- 10. 「要介護者等サポート・地域環境改善事業」が、企画提案方式事業として採択される
- 10.12 「ワークプラザ柏崎」感謝祭

### 平成22年度 (2010~2011)

- 6.19 定期総会および創立30周年記念式典および創立30周年祝賀会(於・市民プラザ)

- 1. 出典: 『創立10周年記念誌』  
『創立20周年記念誌』  
『シルバーだより柏崎』(各号)
- 2. 敬称は略しました。
- 3. 紙面の都合上かなりの事項を割愛しました。特に毎年実施のものについては、初出時のみとしました。

## 創立三十周年を

### 迎えるにあたり

事務局長

小池 芳典



昭和五十五年の設立以来順調に業績も伸びてきましたが、二度の地震と経済不況によりここ二、三年は厳しい現状が続いています。

「自主、自立、共働、共助」のもと、「働く事」と「生きがい」の目的に向かつて努力していきたいと思えます。

これからも皆さんから「愛され、親しまれ、喜んでもらえる」シルバーを目指し、時代に即したサービスの向上、資質の向上に努めていきたいと思えます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 柏崎市シルバー人材センターのこれから

事務局長代理

青木 健



百年に一度と言われる世界的な不況の波に翻弄され、二桁台の業績ダウン、事業仕分け、市の財政難、会員さんたちをも巻き込んだギリギリの経費節減、いったい何重苦に晒されているんだらうと思うこのごろですが、考えてみれば、昭和五十五年の十月に設立してから三十年経とうとしている訳ですから色々なこともあって当然かもしれません。

世界中で日本だけにしかない「シルバー人材センター」というシステムも時代の流れと共に、ある部分では制度疲労をおこしているかもしれません。

これから、センターに求められることは、今までどおりの型にはまった事業展開だけではなく、少し先を見据え、時間をかけて醸成する新しい取り組み、異業種とのコラボレーション、地域に密着したさまざまな取り組みが必要と考えます。

柏崎のシルバーでは、今までも他に先駆け介護保険事業、リサイクル事業、指定管理などに着手、それぞれが着実な成果を上げてきて

ています。

新しく「企画提案方式」による市との共同企画も動き始めています。今後各方面と連携をとりさらに発展拡充していきたいところです。

今年五年目になる「やまゆり」も、ボランティア会員や市民に支えられて、当初目標としていた年間売上八百万円を達成しようとしています。また、今年度から「直売所」としての位置づけもなされ、今後五年の間に東本町の再開発もされることから、市民のよりどころ、元気な街のシンボルになれるような店作りにつっそう力を注いでいこうと思っています。

さらに、高齢化が全国平均より進んでいる実情をふまえ、農業分野において後継者不足の解消、遊休地、耕作放棄地の有効活用、地産地消などを視野に入れ、安心安全な低農薬野菜を提供できるシステム作りを検証します。ゆくゆくは農業参入を視野に入れ、行政やJAと連携を

はかりながら、市民や子供たちにも参加していただき、農場の運営、直売所での野菜販売が出来たら素晴らしいと考えています。

営利を目的としない、民業を圧迫しない、競争入札には参加しないなど、さまざまな制限があるなかで、補助金を頼らず、独自財源をどこに求めるのか、これが最大の課題です。昨年度立ち上げた「経営革新委員会」を中心に、「中長期計画」の策定を行い、これらの課題に立ち向かっていく決意であります。

柏崎市シルバー人材センターのこれから、それは「新たな挑戦」ではないでしょうか？

「やまゆり」サロン  
私たちが職員は、旧態依然とした状況を打ち壊し、少し先を見て、目標を持って常に会員、市民のほうを向いて仕事をしたいと思っています。関係各位の特段のご理解とご協力、時には叱咤激励をお願いいたします。



## 平成二十二年 度 第一回定期総会開催される

平成二十二年 度第一回定期総会、六月十九日(土)午前十時から、市民プラザ海のホールにて開催されました。

会員総数一、二七七名、出席者は三五七名、委任状六六二名で総会成立の確認がなされました。



### 理事長挨拶

千原理事長の挨拶では、シルバー人材センターは中長期計画のもとで進めてきて二十二年は最終年度である。目標としてきた会員

数、就業率、および契約高は世界的な不況に阻まれ、未達に終わろうとしている。

しかし二十一年度の三会計は、辛うじて黒字を計上することができた。



### 会員表彰

続いて会員表彰が行われました。

表彰された会員(会員番号順、敬称、略)

安澤義郎(中南鯖石)、山内男(松浜)、水内隆(比角)、富沢照枝(剣野)、浅賀賢司(海岸)、堀井良夫(枇杷島)、今井昭(海岸)、柴野達也(松浜)、金子和子(田尻)、朝

賀光子(比角)、曾田実吉(枇杷島)、行田茂(海岸)、長谷川武治(比角)、寺崎セイ子(海岸)、内山富雄(東部)、内山彌栄子(東部)、樽和也(東部)、竹内善男(松浜)、深



田スミ(東部)、大谷歌子(北条)、中村秀恒(東部)、岡田浩輝(北条)、以上二十二名、岡田さんが代表して表彰されました。

### 議事

続いて議事に入り、北条地区の田中康夫さんを議長に選出して、平成二十一年度決算関係議案二件を審議、提案通り承認され、無事総会は終了しました。

## 創立三十周年記念式典・祝賀会

総会終了後、引き続き十一時十分より記念式典が行われました。

理事長式辞の後、小池事務局長より三十年の経過報告が行われ、来賓三氏(市長、市議会議長、県シルバー連合会長)より祝辞を頂戴しました。

式典終了後、祝賀会が十二時二十分より百二十名出席し、職安所長の乾杯で開宴して盛大に行われ、十三時三十分閉宴しました。

## 理事会だより

(第一回)五月二十四日(月)

一、議題

○入退会者承認(二月～四月) 入会五九人、退会一〇四人、四人減

○平成二十一年度事業報告・決算報告について

○監査報告 右、事務局の提案通り承認。

二、その他

○六月十九日の定期総会、創立三十周年記念事業について

○農業参入について

## 地区の動き



枇杷島地区 6月11日(金)会場 ナステビュウ湯の山

6月11日 ナステビュウ湯の山 (12名)



西中中通地区

6月27日 割烹旅館大家 (25名)



剣野地区

6月26日 剣野コミュニティ (16名)

### 安全意識を高めて事故ゼロに

#### 安全部会

今年度も七月の一カ月間は、全国シルバー人材センターが「安全・適正就業強化月間」と定め全国的に強化月間が行われました。

当センターも安全・適正就業の確保と周知について活動を展開しました。

#### 具体的に

- ① 危険・有害な作業は受託しないこと
- ② 職群班班長・地区委員長会議・安全パトロール等により安全保護

具の完全着用を図る

③ 職群班班長を通して就業前に現場の安全確認。会員同士の声掛けによる健康チェックの実施

④ 巡回パトロールによる安全作業の実施等です

幸いに今年度は、七月現在、重篤事故はもちろん、通勤途上の交通事故も含めてその他の事故も発生しておりません。七月で安全・適正就業強化月間は終了しましたが、今後も会員みんなが安全意識を高めて安全就業、通勤途上の交通事故防止を継続し、目標としている「事故ゼロ」を達成しましょう。

#### 全国スローガン

「気のゆるみ 慣れと油断が事故のもと」

#### 新潟県スローガン

「気を抜くな！ 今日笑顔で安全就業」

「安全の一言かけて さあ仕事」

#### 健康管理

健康で元気で働くために

最近シルバー人材センターの退会者が増えていますが、その中でも病気（死亡も含む）で退会する人の割合が増えています。（二十一年六月～二十二年五月まで三十五％、前年は二十八％）そこで会

員皆さんに、より一層健康管理の意識を高めてもらって、元気に働くために次の点に留意して下さい。

#### 日常気をつけること

- 一、定期的に健康診断を受ける
  - 二、加齢による体の機能低下を自覚する
  - 三、適度な運動をして体力維持に努める
  - 四、生活習慣病を予防し慢性病を悪化させないようにする
  - 五、十分な栄養を取り、過度のストレスはためないようにする
- 健康は安全就業の第一条件です。会員のみならず自分の身体は自分で守りましょう。



## シニアじまん展

# 作品募集

柏崎市老人クラブ連合会、シルバー人材センターの共催で開催されます。

日ごろ趣味等で創り上げた作品だけでなく、コレクション、宝物、珍しい物などを集めた作品展で、毎年多数の作品が出品されます。

日時 平成22年11月6日(土)、7日(日)

会場 ソフィアセンター

### 募集作品

日本画、洋画、彫刻、陶芸、書道、写真、手芸等の創作品、じまんのコレクションや骨董品などなんでも結構です。昔作った物でも大歓迎です。

応募資格 60歳以上の方

(会員に限らず一般の方も可能です)

出品数 1人2点まで

申し込み 10月22日までに事務局へ

## 募集

## 黄金風呂



●期 日  
10月25日(月)～26日(火)

●会 費  
お一人様 23,000円

●募集人員:40名

## YOKOSUKA軍港巡りと 太平洋を一望する小湊

# 鯛の浦温泉の旅

10月25日(月)  
(出発) 柏崎市 — 長岡JCT — 大泉JCT — YOKOSUKA 軍港めぐり — (観光) 東京湾フェリー — 記念艦三笠 — 久里浜港 — 金谷港 — 鯛の浦温泉(宿泊)  
8:00 12:50~13:40 13:45~14:45 15:10~15:35 16:15~16:20 17:40

10月26日(火)  
(観光) ホテル — 潮騒市場 — 東京湾アクアライン・海ほたる — ランチバイキングの昼食  
9:00 9:20~9:50 11:00~11:30 12:30~13:30  
(観光) — アクアシティ お台場 — 大泉JCT — 長岡JCT — 柏崎市(到着)  
14:00~15:00 20:00

～お申し込みは会費を添えて事務局までどうぞ。締切は10月15日(金)です。～

## 事業普及啓発月間

今年もシルバーの日(十月十六日)を中心に、各地区でクリーン作戦(清掃ボランティア)が行われる予定です。

多くの会員が参加されますよう、お願いいたします。

◎詳細は後日、配布します。

## 就業相談室開設

毎月第四木曜日十三時から十六時まで開設いたします。

ご希望の方は、必ず事前に電話をして下さい。

### 開設予定日

九月二十二日(水) 十月二十八日(木)  
十一月二十五日(木) 十二月二十二日(水)

## 『やまゆり』

## 無料パソコン 相談コーナー

毎週金曜日午後1時～3時まで、開いています。お気軽においでください。

シルバーの仕事の紹介、事業の案内  
テレフォンサービス開設中  
電話22-2231番です

## 千原理事長より寄付

五月にご母堂が逝去されましたが、この度その香典返しとして、当センターに十万円を寄付されました。

## 編集後記

三十周年記念号の編集に携わり、「三十年の歩み」を改めて読んでみた。昭和五十五年に高齢者事業団として県内で二番目に設立され、当初はテレビ局の取材がいろいろあったようである。

設立準備委員から参加し事務局長を経て、理事長(平成三十一年)を務めた笠木量平氏の功績が偲ばれる。時代は遷り変わり、適正就業の実施、そして平成十九年には世界的不況、中越沖地震と当センターは荒波にもまれてきた。

これらの環境は業績面に対してはマイナス指向であるが、全員が一致協力して乗り切っていかなければならない。(今井)